

財政状況のお知らせ

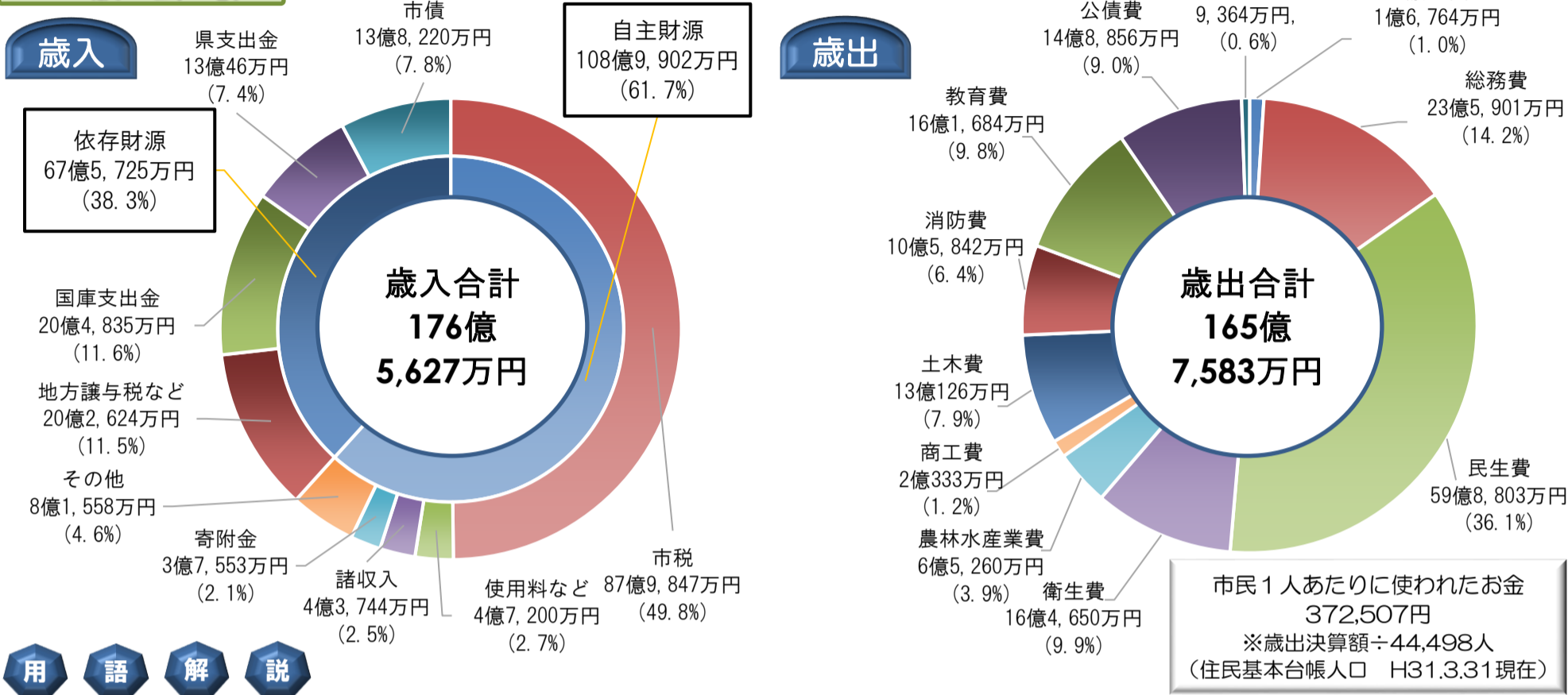
市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをお知らせします。
 今回は平成30年度決算の概要、健全化判断比率などの状況、令和元年度上半期予算執行状況などを公表します。

平成30年度決算の概要

一般会計の歳入決算額は176億5,627万円で前年度比2.7%の増、歳出決算額は165億7,583万円で前年度比1.6%の増となっており、歳入・歳出ともに増加しているのは、スポーツ振興くじ助成金を活用して実施した「ふれあい公園整備事業（陸上競技場改修工事）」約2億円、国庫負担金・市債を活用して実施した「天羽中学校校舎改築事業」約2億7千万円などが大きな要因として挙げられます。

歳入は、市税の法人市民税が大幅に落ち込む一方で、固定資産税が大幅に増加したことに加え、個人市民税も増額しました。また、大規模建設工事実施の影響により市債借入額も増加しました。

一般会計

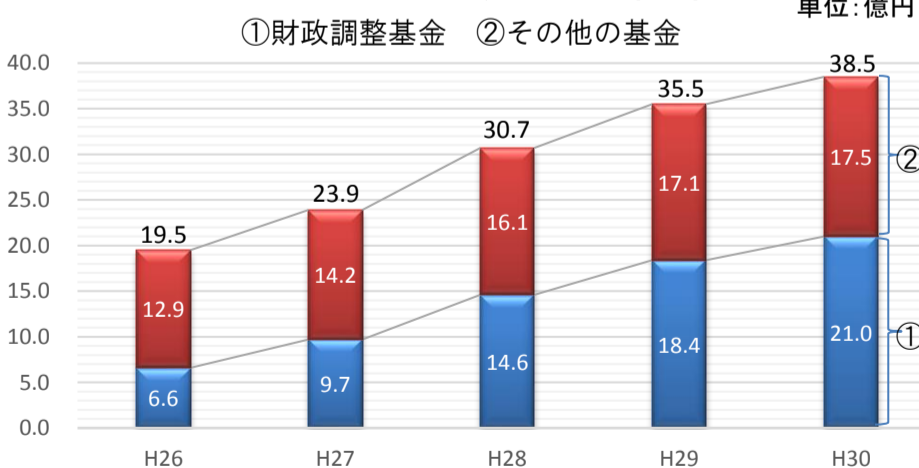


用語解説

自主財源	富津市が自らの権限で収入できる財源
市税	市民税、固定資産税など市に納付される税金
使用料など	公共施設の使用料、住民票の交付手数料など
諸収入	市税延滞金、預金利子、貸付金の元金収入、その他雑入など
寄附金	ふるさと納税などの寄附金
その他	財産収入、基金からの繰入金、前年度で生じた剰余金のうち当該年度への繰越金
依存財源	国・県から交付される財源など
地方譲与税など	国や県が徴収した特定の税などから分配されるもの
国庫支出金	市の事業に対し国から交付されるもの
県支出金	市の事業に対し県から交付されるもの
市債	国や金融機関などから調達する長期的な借入金

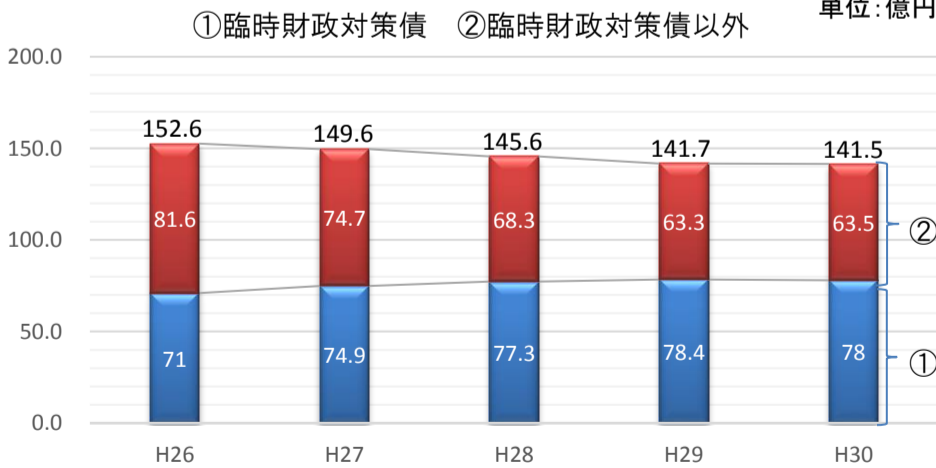
目的	内容
議会費	市議会の運営など
総務費	庁舎の管理、企画関係、税金賦課徴収、戸籍管理、選挙、統計調査など
民生費	子育て支援、生活保護、高齢者支援、障がい者支援、保育所運営費など
衛生費	各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理、公害対策費など
農林水産業費	農業・林業・水産業の振興費など
商工費	観光振興、商工振興、消費生活対策など
土木費	道路・橋・河川・公園・市営住宅の管理、都市計画など
消防費	火災の予防・消火、救急活動、消防署・消防車両の管理・運営など
教育費	小・中学校、公民館、スポーツ施設などの管理・運営、文化財の保護など
公債費	市の借入金（市債）の返済金
その他	災害復旧、労働対策など

一般会計の基金(貯金)残高推移



市の貯金である基金の残高は、前年度の35億5千万円から3億円増の38億5千万円となりました。このうち、災害や経済事情により著しく財源が不足する場合などに備える財政調整基金は、経営改革を推進することで平成26年度以降積み立てを継続し、平成30年度末で21億円となりました。

一般会計の市債(借入金)残高推移



市の借入金の残高は、既発行債の償還が進んだこと、臨時財政対策債の発行抑制などにより、前年度の141億7千万円から2千万円減の141億5千万円となりました。市債は臨時財政対策債などの特例債を除き、将来に渡り便益を受けることとなる道路や建物の整備費などを借入れ、その支払を分割させることで、現世代と後世代の住民とで負担を公平化させる役割を担っています。

全ての会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	企業会計名	収入額	支出額	差引額	
一般会計	176億5,627万円	165億7,583万円	10億8,044万円	水道事業	収益的 26億9,077万円	40億2,831万円	△13億3,754万円	
特別会計	117億3,330万円	115億6,500万円	1億6,830万円		資本的 2億8,668万円	6億8,472万円	△3億9,804万円	
内訳	国民健康保険事業	61億500万円	60億6,784万円	3,716万円	温泉供給事業	収益的 98万円	255万円	△157万円
	後期高齢者医療	5億7,261万円	5億6,906万円	355万円		資本的 0円	1万円	△1万円
	介護保険事業	50億5,569万円	49億2,810万円	1億2,759万円				

※収益的…事業収益が目的 ※資本的…施設整備が目的

健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「健全化判断比率」と公営企業の「資金不足比率」を公表します。算定した比率が国の定めた早期健全化基準や財政再生基準を上回ると、財政運営上危険な状態と判断され、それぞれの計画に従い財政健全化を図ることになります。富津市の平成30年度決算に基づく各比率は、いずれも基準を下回っています。

健全化判断比率

指標名	富津市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.15%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.15%	30.00%
実質公債費比率	9.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	68.6%	350.0%	

資金不足比率

会計名	富津市の比率	経営健全化基準
水道事業	不足なし	20.0%
温泉供給事業	不足なし	20.0%

財政健全化の比率はいずれも基準を下回っています。引き続き経営改革に取り組んでいきます。



用語解説

- 実質赤字比率・・・一般会計の実質的な赤字が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 連結実質赤字比率・・・公営企業会計を含む全ての会計を合算し、市全体としての赤字の程度を示す指標
- 実質公債費比率・・・借入金の実質的な年間返済額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 将来負担比率・・・将来的に市が支払うべき負担見込額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- 資金不足比率・・・各公営企業における資金不足が、事業の規模に対して、どの程度かを示す指標

令和元年度上半期予算執行状況等（4月～9月）

令和元年度の予算の執行状況、市債の現在高などをお知らせします。予算の執行状況は上半期中の収入と支出を示すもので、市債の現在高は市の借入金の状況を示しています。これらは市の財政状況が現時点でどのような状況にあるかを市民の皆さんにお伝えするため、年2回（5月・11月）公表しています。

一般会計の執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市税	86億2,559万円	48億8,240万円	56.6%
譲与税など	21億8,595万円	12億3,374万円	55.1%
使用料など	4億3,324万円	1億7,788万円	44.1%
国庫支出金	29億2,426万円	7億9,418万円	27.2%
県支出金	14億5,147万円	1億2,811万円	8.8%
寄附金	5億4,411万円	1億1,387万円	22.6%
諸収入	3億8,897万円	1億6,699万円	25.9%
市債	28億7,400万円	0円	0.0%
その他	6億2,081万円	7億7,735万円	113.9%
合計	199億7,840万円	81億8,822万円	40.6%

歳出	予算現額	支出済額	執行率
議会費	1億7,521万円	9,343万円	53.3%
総務費	28億2,647万円	9億7,558万円	34.5%
民生費	64億2,970万円	20億9,301万円	32.6%
衛生費	19億6,566万円	6億8,149万円	34.7%
農林水産業費	7億4,468万円	1億2,770万円	18.1%
商工費	2億9,052万円	1億2,865万円	44.3%
土木費	16億8,802万円	4億8,062万円	28.5%
消防費	11億8,899万円	3億8,904万円	35.3%
教育費	31億3,538万円	11億7,196万円	37.4%
公債費	15億3,316万円	7億4,625万円	48.7%
その他	1億2,871万円	4,143万円	32.2%
合計	199億7,840万円	69億2,916万円	34.7%

特別会計の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	59億6,532万円	24億2,260万円	22億1,733万円
後期高齢者医療	6億1,177万円	2億4,465万円	1億2,200万円
介護保険事業	50億2,589万円	21億2,846万円	20億5,019万円

企業会計の執行状況

会計名	収入		支出		
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額	
温泉	収益的	94万円	48万円	290万円	81万円
	資本的	1万円	0円	1万円	0円

※収益的…事業収益が目的 ※資本的…施設整備が目的

市債の現在高

一般会計	134億4,888万円
特別会計	0円
企業会計	0円

一時借入金の状況

一般会計	0円
特別会計	0円

市民の負担状況(市債)

一般会計	
1人あたり	303,881円
1世帯あたり	668,965円

人口:44,257人 世帯:20,104世帯
(住民基本台帳人口 R1.9.30現在)

市の財産(主なもの)

土地	2,027,535㎡
建物	156,259㎡
財政調整基金	24億8,181万円
その他の基金	17億4,867万円

※予算現額とは、当初予算額に補正予算額などを加えたもの

※1万円未満は原則四捨五入しています。 問 財政課 ☎80・1237